

## 緊急質問（要旨）

2011/3/17

私は、日本共産党県議団として、緊急質問を行います。

まず、今回の震災で、被災され、家族の安否を気づかいながら、苦しい避難生活をおくっておられる皆様に心からお見舞いもうしあげます。そして、無念な思いで尊い命を失われた皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

わが党は、11日、地震発生後ただちに、志位和夫委員長を本部長とする地震災害対策本部を設置し、地震による被害を最小限に防ぐことは政治の責任であるとして、情報収集と救援活動に全力をあげているところです。

私自身も、被災地から遠く離れたこの鹿児島で今何かできるのかと考え、地震発生2日後の日曜日に、日本共産党として、天文館にたち街頭募金を訴えました。小さな子どもさんから、中学生、高校生、ご年配の方達まで、多くの方が、募金箱に駆け寄り、募金をお寄せいただきました。私は、その方達に「ありがとうございます。」と頭を下げながら、涙があふれてしかたありませんでした。わずか1時間の間に、16万円を超える募金が寄せられました。自然の脅威の前に、人間の力は無力ではありますが、このように、遠く離れた縁もゆかりもない方達の苦しみに胸を痛め、心を寄せるこの行為に、人の温かさ、人の力を感じ、国民総力を挙げて、救済、支援をしていかなければと、固く心に誓いました。

と同時に、地方政治にかかわる者として、この災害をわが鹿児島に引き寄せて、県政の在り方を問う役割を果たさなければなりません。そこで、何点かおたずねします。

この地震災害が報道されて、すぐに私のところへ、何人もの方から、「やっぱり人工島は危ない。」「防災拠点なんてとんでもない。」という声が寄せられました。

人工島は、海に突き出たもので、今回の地震による津波被害を最も受けやすいものであることは明らかです。また、千葉県の浦安市などの埋立地では液状化現象が起きて、道路も至る所で波打ち、1メートルほどの段差や亀裂が各所に見られたことから、人工島は、防災拠点としての役割は果たせないことは明らかです。すでに、完成した1工区には、約3000万円を費やした防災シェルターや災害時には、トイレに使えるという防災ベンチも作られています。まもなく埋立が完了するとされている2工区を含め、この人工島を災害時対応空間として位置づけ、整備を続けることは、税金のむだ遣いになると共に、実際に、ここを一時的な避難場所や仮設住宅を建設し避難生活を送る場所として使うことは、県民に不安を与え、県民の命を危険にさらすことにもなります。人工島の災害時対応空間としての位置づけを見直し、これ以上、予算を注ぎ込むことはやめるべきであると考えますが、知事の見解を求めます。

次に、今回の東京電力福島原子力発電所原発をめぐる重大事故に関しておたずねいたします。福島第1原発使用済み核燃料プールの水の減少、原子炉格納容器の損傷と放射性物質の外部への放出は、日本の原発史上最悪の事態です。国と電力会社は、これまで、地震で原発

が大きな被害を受け住民が危険にさらされるという不安に対して、原発には「停める、冷やす、閉じこめる」機能があるから大丈夫だと言いつけてきました。しかし、福島第1原発で進行している事態は、これがまったくでたらめであったことを示しています。

現在、全国で13の道府県に55基の原発が存在しています。この福島第1原発の重大事態に直面し、薩摩川内市に2基の原子炉を有する県知事として、どういう感想をお持ちでしょうか、お聞かせください。

また、今回の事故に直面し、知事は、原発の危険性について、どのように認識されますか。

これまで、原発の危険性を訴える住民に対して、県は、国や電力会社の言う「仮に異常な事態や事故が発生しても、その拡大を防止するため、多重防護と言われる複数のレベルに分けて対策を講じている」という立場を示し、住民に説明してきました。県は、原発は“多重防護”のシステムで安全という姿勢を改めるべきであると考えますが、知事の見解を求めます。

次に、川内原発3号機増設に係わっておたずねします。知事は、重要電源開発の指定についての回答において、資源エネルギー長官に求めた「十分な配慮」の中で、原子力発電について、「安全運転の実績を重ねつつ、また、徹底した情報公開により国民の信頼を得ながら、その有効活用を図るべきものとする」とされており、知事の「同意」は、原発の「安全運転」が前提となっています。今回の福島原発の事故によって、その前提が崩れた以上、県民の命と安全を守る立場で、「同意」を撤回し、九州電力に対しては、原子炉設置変更許可申請の取り下げを求めるべきであると考えますが、見解を伺います。

#### 【まとめ】

地震や津波は自然の力によるもので、それを人の力で止めることはできません。しかしながら、それによる犠牲と被害を最小限にとどめるようにすることは、人の力できるものです。

人工島も原発も、人間が作ったものです。それが人の命を危険にさらすことは許されません。

最後に、わが党は、今回の震災による被災者の支援と地域と住民の復興のために、全国民と共に全力を挙げて奮闘することを表明し、質問を終わります。